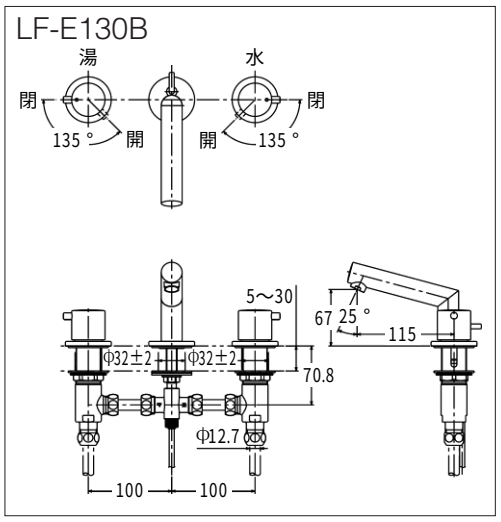
施工説明書

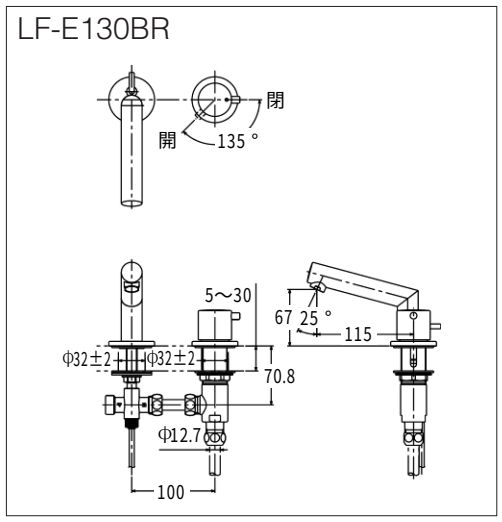
ツーハンドル混合水栓
セパレート水栓

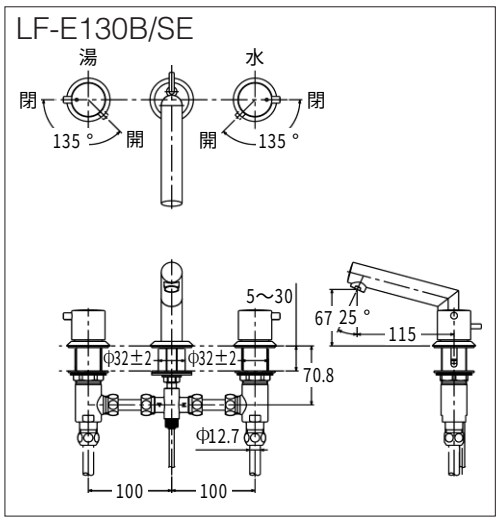
LF-E130B　LF-E130BR
LF-E130B/SE　LF-E130BR/SE
ツーハンドル混合水栓　セパレート水栓

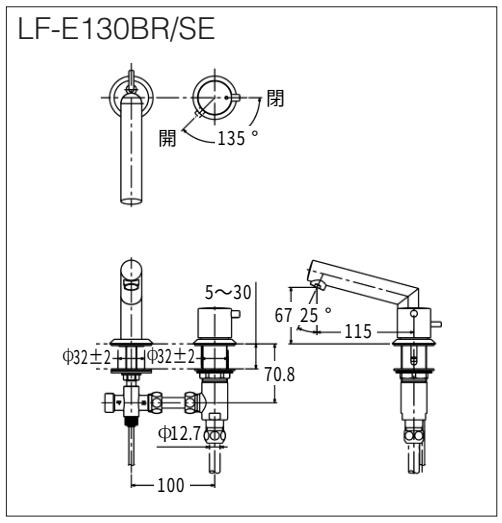
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●商品図









※カウンター穴あけ寸法は全品番φ32±2で行ってください。
※カウンター厚は全品番5〜30㎜

●安全上のご注意

お客さまへお願い

●取付工事は必ず工事店に依頼してください。ご不明な点がありましたら工事店または、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
●取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず施工説明書とともに保管してください。

取付工事店の方にお願い

●ここに示した〔⚠警告・注意〕は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
●取付工事は、水道法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。
●工事または取扱いにあたって、ご不明な点がありましたら、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

⚠警　告

●水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けないでください。

⚠注　意

取付工事の前に

●**流量調節のため、止水栓（別売品）を取り付けてください。**
※使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。
●給水圧力は0.05〜0.75MPa {0.5〜7.6㎏f/㎠} です。
給水圧力が0.75MPa {7.6㎏f/㎠} を越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力（0.20MPa {2.0㎏f/㎠} 程度）に減圧してください。
●取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

取付けに際して

●同梱の部品以外は使用しないでください。
●湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
●各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。

取り付けた後で

●最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。
●お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力｛最低必要圧力……A＋0.05MPa{0.5kgf/㎠}
　　最高圧力……0.74MPa{7.5kgf/㎠}
※Aはガス給湯器の最低作動水圧です。
●測定条件
※湯側ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力｛最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
　　最高圧力……0.74MPa{7.5kgf/㎠}
●給水圧力と給湯圧力の差が小さいほど、温度調節がしやすく使い勝手がよくなります。
●給水圧力が0.74MPa {7.5kgf/㎠} を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20MPa {2kgf/㎠} 程度）に減圧してください。
●給湯に**蒸気**は使用できません。
●止水栓（別売）を必ず設けてください。

●施工前のご注意

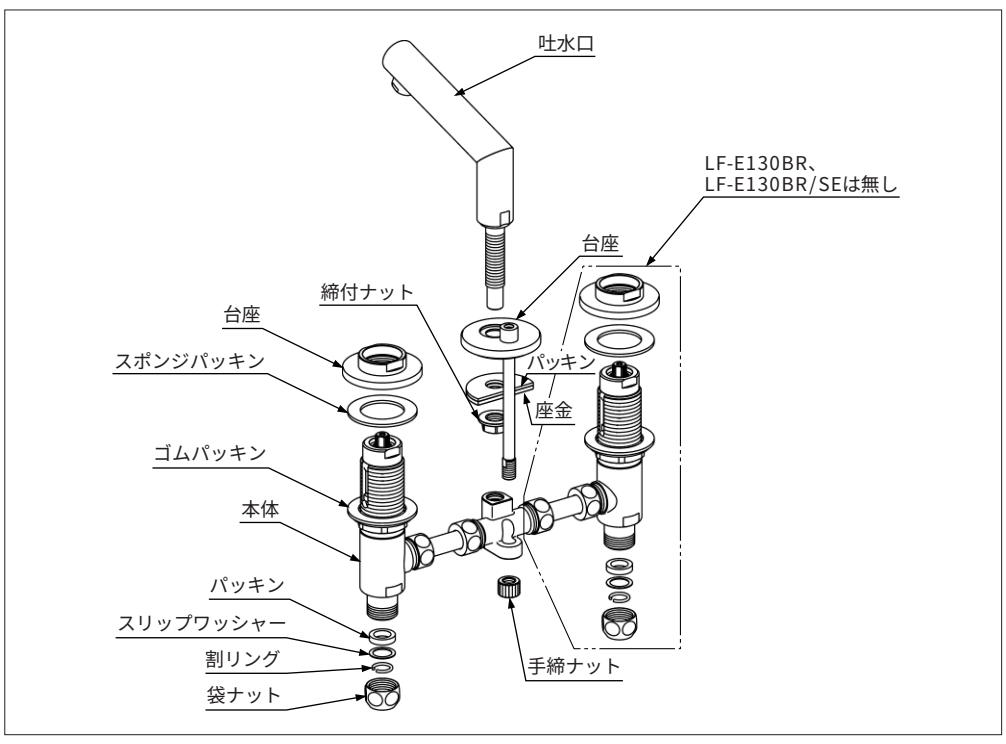
●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●水栓を取り付ける前に必ず**配管中の異物**を完全に洗い流してください。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。工具を掛ける場合には、商品に布等をあてて保護してください。
●水栓取付けに必要な専用工具「KG-4、KG-5」をご用意ください。

●施工方法

専用工具「KG-4、KG-5」を用い、以下の手順で水栓を取り付けてください。

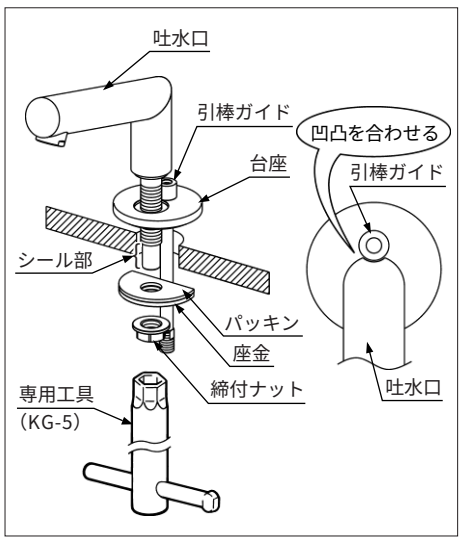
1. 部品の取外し

図のように部品を取り外します。



2. 吐水口の取付け

吐水口と台座を取付穴に挿入し、吐水口を台座に引棒ガイドとの凹凸を合わせてのせ、締付ナットで固定します。
※座金はパッキン面を上にし、取付穴裏面に当たるまで挿入してから、締付ナットをしっかりと締め付けてください。
※締付けが足りないと、水栓本体がぐらついたり、取付穴下への漏水等の原因となります。
※工具は、別売の専用工具（KG-5）を使用してください。
※吐水口を固定する際、シール部（右図）を傷つけないようにしてください。
漏水等の原因となります。



株式会社 INAX

本　社　☎0569-35-2700
北海道支社　☎011-271-1713
東北支社　☎022-301-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
関東支社　☎048-668-1177
甲信支社　☎0263-36-2166
中部統括支社　☎052-201-1717
北陸支社　☎076-264-1710
関西統括支社　☎06-6539-3500
中国支社　☎082-223-1710
四国支社　☎087-821-1701
九州支社　☎092-282-3154

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
㈱INAX「お客さま相談センター」☎0562-31-0793
受付時間　平日　9:00〜19:00
土日・祝日 10:00〜18:00
（夏季、年末年始の休みは除く）

3. 本体の取付け

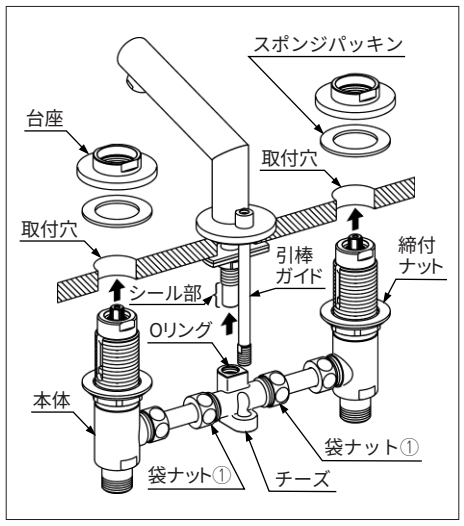
⑴チーズ側の袋ナット①をゆるめて、本体、チーズ間の寸法を取付穴間の寸法に合わせてください。

⑵矢印のように本体を下から差し込んでください。

⑶本体にスポンジパッキンを組み付け、台座を最後まで締め付けてください。

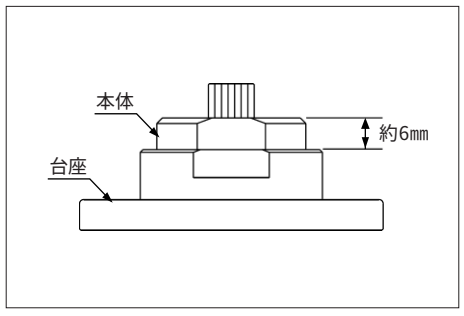
※このとき、締付ナットがカウンター裏面に当たらないように下にずらしてください。

※チーズ部を吐水口に差し込む際、シール部やOリングを傷つけないようにしてください。漏水の原因となります。



⑷本体が台座から約6㎜見えているか確認してください。

※6㎜以下の場合は、⑶からやり直してください。



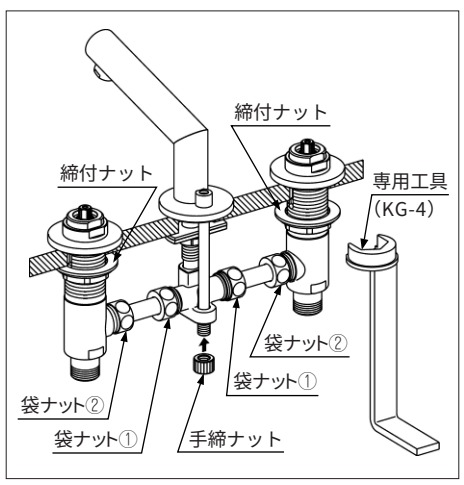
⑸工具で締付ナットをしっかり固定します。

※締付けが足りないと、水栓本体がぐらついたり、取付穴下への漏水等の原因となります。

※工具は、別売の専用工具（KG-4）を使用してください。

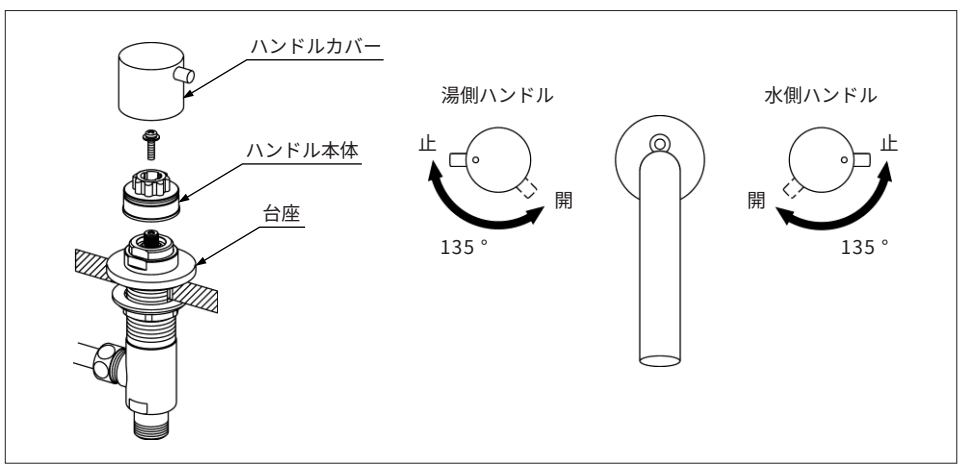
⑹手締ナットをしっかりと締め付けてください。

⑺袋ナット①と②をしっかりと締め付けます。

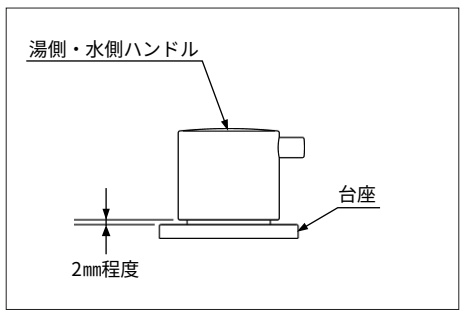


4. ハンドルの取付け

止水位置が下図の位置になるように、ハンドルを取り付けます。



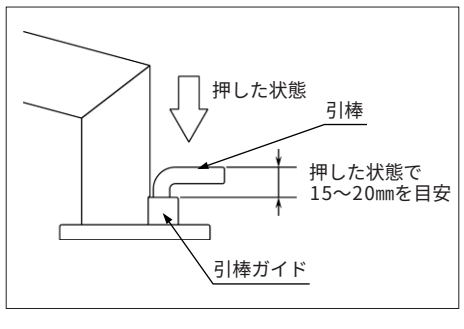
※このとき、ハンドルと台座のすき間が2㎜程度となるか確認してください。隙間がない場合は台座の締め込み量が足らないため、3.からやりなおしてください。



5. 排水金具の接続

排水金具と引棒を接続します。

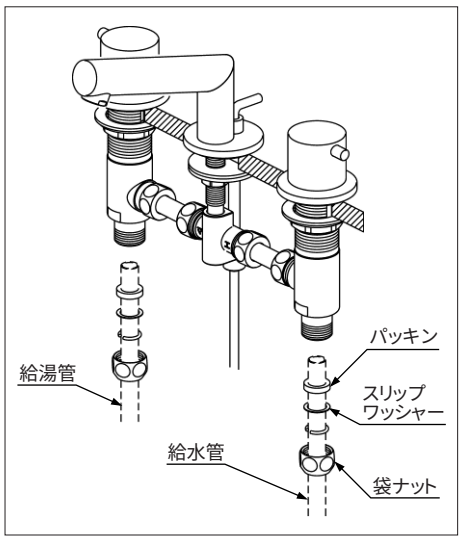
※排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。この時、引き棒は右図のように取りつけてください。



6. 給水・給湯管の取付け

⑴本体への差込シロ（約20㎜）をとり、給水・給湯管（別売の止水栓に付属）を切断してください。

⑵給水・給湯管に袋ナット、スリップワッシャー、パッキンの順に通して本体にしっかりと差し込み、袋ナットを締め付けてください。



●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、湯と水の吐出量が同じになるように止水栓（別売品）を絞ってください。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

故　障	点 検 内 容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？	—	「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？	—	抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？	—	止水栓を十分開く。
	整流ユニットのゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	—	「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか？	—	「流量調節」の項参照。
	整流ユニットのゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	③	ハンドル止めビスをしっかりと締める。